



2023 年 6 月 14 日

## デジタルルーブルの発行を急ぐロシア

公益財団法人 国際通貨研究所  
経済調査部 上席研究員 潮田玲子

ロシア連邦中央銀行（以下、中銀）は、2024 年より自国のリテール型中央銀行デジタル通貨「デジタルルーブル」のプラットフォームと国内全ての金融機関を接続し、デジタルルーブルを流通させる（＝発行する）ことを表明した。既にパイロットテスト第 1 弾として、プラットフォーム上での e ウォレット開設やルーブル預金からデジタルルーブルへの変換、個人間のデジタルルーブル建て送金等を成功させている。

2023 年 8 月頃開始予定のパイロットテスト第 2 弾では、13 の金融機関及びその一部の従業員、選定された商店等が実際にデジタルルーブルを使用して取引、決済する。実際の運用を想定した実験になることから、現在、デジタルルーブルを現金、預金等と並ぶ第 3 の形態の通貨として位置づけ、運用する際の中銀や金融機関等の役割や責任を規定する等、デジタルルーブルに関する法案や民法等を整備中である<sup>1</sup>。

中銀が公表したコンサルテーションペーパー（2020 年）やコンセプトペーパー（2021 年）によると、デジタルルーブルの発行は、①進展するデジタル経済においてより早く、便利で、安全な決済を求める国民のニーズに応える新たな決済手段の提供、②金融機関の競争促進による顧客サービスの質の向上（決済コストの削減等）、③金融包摂の向上、の 3 点に資するという。ただし①、②については、中銀が 2019 年に個人及び企業向けの Faster Payments System（SBP。即時決済システム）をリリース済で、スマートフォンの電話番号や QR コードを通じ、24 時間 365 日、迅速で安全、安価な国内送金を既に実現している。また③に関しても、ロシア国内の銀行支店数や ATM 設置数は国土の広さから、中国や日本と比べ少ないものの、15 歳以上の国民の口座保有率、デジタル決済率、モバイル保有率は両国と同水準で、既に一定の金融包摂を達成していることが分かる（次頁図表参照）。

CBDC 導入による国内決済の高度化に加え、デジタルルーブルが今後クロスボーダー決済にも対応予定であることからすると、デジタルルーブル発行のもう一つの目的は、独自の国際金融取引の実施手段を増やすことであろう。実際、中銀が 2022 年にパイロットテスト第 2 弾の開始時期について、当初の 2024 年から今年への前倒しを表明した

<sup>1</sup> <https://www.interfax.ru/business/902543>

図表 各国の比較

	1,000kmあたりの銀行支店数(2021年)	1,000kmあたりのATM設置数(2021年)	15歳以上の国民の口座(注)保有率(2021年)	過去1年以内にデジタル決済した15歳以上の国民の割合(2021年)	15歳以上の国民のモバイル保有率(2021年)
ロシア(法案審議中)	1店舗(2020年)	11台(2020年)	89.7%	82.3%	99.3%
中国(パイロットテスト中)	10店舗	100台	88.7%	84.5%	100%
日本(パイロットテスト中)	102店舗	353台	98.4%	89.2%	94.8%

(資料)世界銀行、IMFデータより国際通貨研究所作成

(注)銀行口座またはモバイル口座

際、スコロボガトワ第一副総裁は「ロシアのウクライナ侵攻をめぐる欧米の金融制裁（SWIFT<sup>2</sup>からの排除等）により、中銀はデジタルルーブルの開発を加速させた」と発言している<sup>3</sup>。

中銀は、クリミア併合（2014年）後にSWIFTから排除される可能性を考慮し、SWIFT以外の手段でも国際金融取引ができるよう、ロシア版SWIFTともいえるSystem for Transfer of Financial Messages（SPFS）を2017年に稼働させた。また、先述のSBPは、将来的には電話番号等による個人間のクロスボーダー送金にも利用される計画である<sup>4</sup>。デジタルルーブルについても、Rossiyskaya Gazeta（ロシア連邦官報）によれば、早ければ2024年にも中国の中央銀行デジタル通貨のシステムと相互運用するパイロットテストを始める予定である<sup>5</sup>。ロシアが国際金融取引手段の拡充を目指すなか、デジタルルーブルが今後、他のシステムとどのように関わり、どのような役割を果たしていくのか、引き続き注視が必要だ。

以上

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。

Copyright 2023 Institute for International Monetary Affairs（公益財団法人 国際通貨研究所）

All rights reserved. Except for brief quotations embodied in articles and reviews, no part of this publication may be reproduced in any form or by any means, including photocopy, without permission from the Institute for International Monetary Affairs.

Address: Nihon Life Nihonbashi Bldg., 8F 2-13-12, Nihonbashi, Chuo-ku, Tokyo 103-0027, Japan

Telephone: 81-3-3510-0882

〒103-0027 東京都中央区日本橋 2-13-12 日本生命日本橋ビル 8 階

電話：03-3510-0882（代）

e-mail: [admin@iima.or.jp](mailto:admin@iima.or.jp)

URL: <https://www.iima.or.jp>

<sup>2</sup> クロスボーダー送金等の国際金融取引に関する電文を交わすための不可欠なメッセージングシステム。200 超の国・地域における 11,000 超の金融機関等が利用。

<sup>3</sup> <https://www.forbes.ru/finansy/466657-cb-uskoril-raboty-po-sozdaniyu-cifrovogo-rubla-iz-za-sankcij>

<sup>4</sup> 中銀、“THE BANK OF RUSSIA’S WORK IN 2022: RESULTS IN BRIEF” p.5、2023 年

[https://www.cbr.ru/Collection/Collection/File/43917/rb\\_2022.pdf](https://www.cbr.ru/Collection/Collection/File/43917/rb_2022.pdf)

<https://interfax.com/newsroom/top-stories/81432/>

<sup>5</sup> <https://rg.ru/2022/12/01/vozmuzh-v-oborot.html?ref=en.thebell.io>

<https://en.thebell.io/the-ukraine-war-means-russia-needs-a-digital-ruble-more-than-ever/>

## 巻末資料 デジタルルーブルをめぐる主な動向

2020年	10月13日	中銀	Consultation paper "A DIGITAL RUBLE"を公表 デジタルルーブルの4つの設計案を概説した上で、デジタルルーブル実現の可能性について一般からのフィードバックを求めるもの
2021年	4月8日	中銀	"DIGITAL RUBLE CONCEPT"を公表 デジタルルーブル発行の方針を決定 2020年10月13日付Consultation paperへのフィードバックを受け、デジタルルーブルの設計図、金融政策や金融安定性への影響、パイロットテストまでのスケジュール等をまとめたもの デジタルルーブルのプロトタイプ実装は12月の予定
	12月	中銀	デジタルルーブルのプロトタイプが完成
2022年	2月15日	中銀	デジタルルーブルのパイロットテスト第1弾を開始 12の国内金融機関が参加。テストの主な内容は下記の通り： ・各金融機関のモバイルアプリよりデジタルルーブルのeウォレットの開設 ・個人の預金口座からデジタルルーブルへの変換 ・eウォレット間のデジタルルーブル建て送金
	5月29日	中銀	スコロボガトワ第一副総裁が、ロシア銀行協会主催の会合において、パイロットテスト第2弾を2024年から2023年4月に前倒しすることを公表  また、ロシアのウクライナ侵攻をめぐる欧米の金融制裁（SWIFTからの排除等）により、中銀はデジタルルーブルの開発を加速させた、と発言（フォーブス誌ロシア語版より）
	8月15日	中銀	"DRAFT MONETARY POLICY GUIDELINES FOR 2023–2025"（草案）にて、2024年にデジタルルーブルを発行することを示唆
2023年	3月6日	政府	デジタルルーブルに関する法案等が国家院（下院）の第一読会（審議）を通過
	7月末まで	政府	デジタルルーブルに関する修正案が国家院の第二読会を通過
	8月予定	中銀	デジタルルーブルのパイロットテスト第2弾を実施 13の金融機関が参加。実際の通貨を使用した取引を予定。テストの主な内容は下記の通り： ・企業への商品・サービスの決済 ・公共サービスの決済 ・スマートコントラクトの締結 ・連邦財務省とのやりとり
	12月予定	中銀	パイロットテストを終了し、デジタルルーブル発行に向けたロードマップを公表
2024年	中銀	デジタルルーブルを発行 ロシア国内の全ての銀行とデジタルルーブルのプラットフォームを接続 また、 ・連邦財務省と個人または企業間取引においてデジタルルーブルの活用開始 ・クロスボーダー送金や他通貨との為替取引の実施	
2025年	中銀	デジタルルーブルへのオフライン機能追加  ノンバンクの金融仲介機関、金融プラットフォーム、取引所等とデジタルルーブルのプラットフォームの接続	

（資料）ロシア連邦中央銀行、国営メディアTASS等の各種資料より国際通貨研究所作成